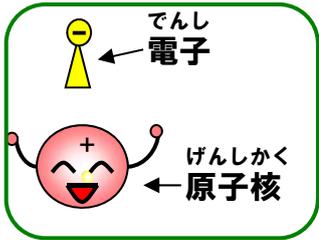
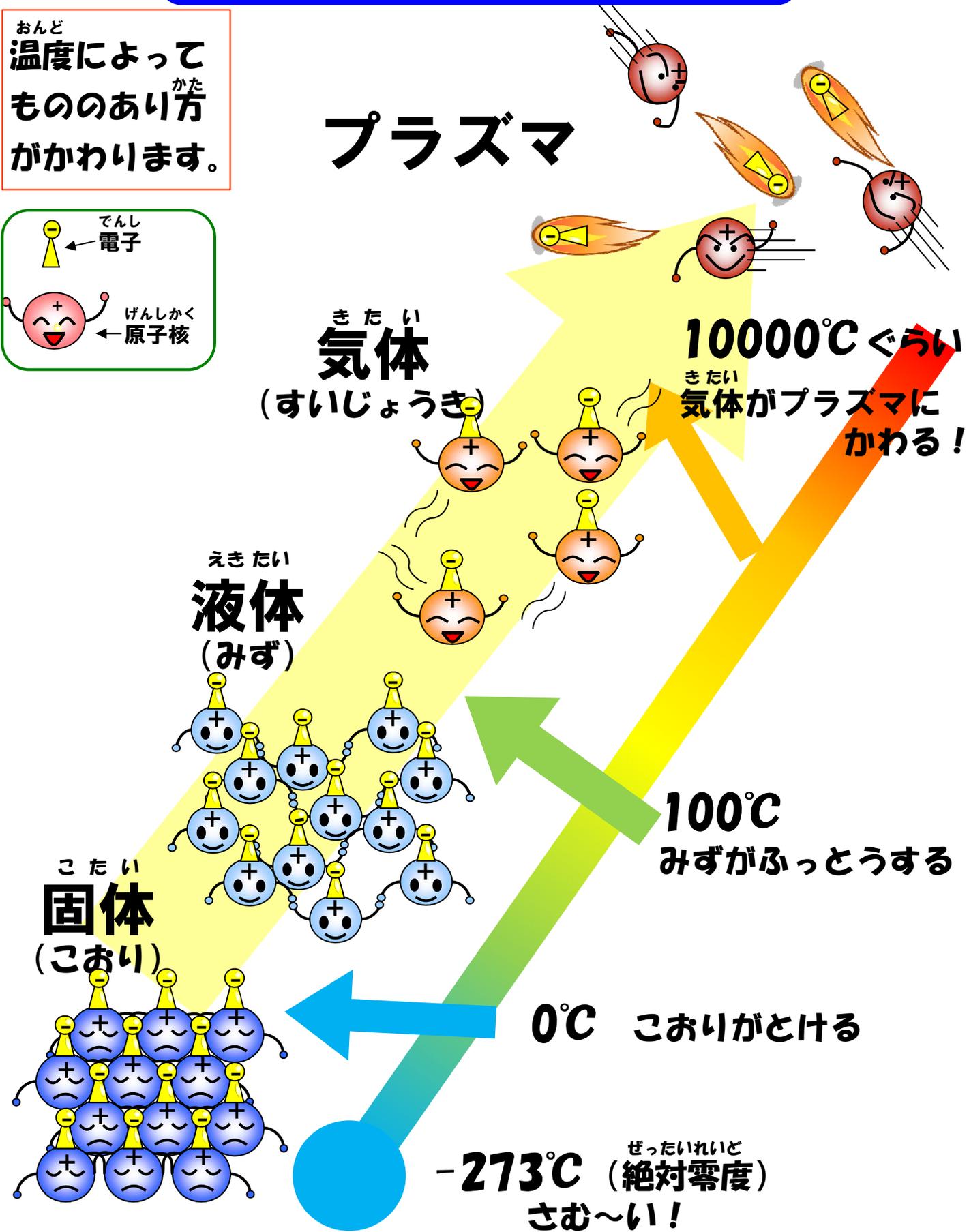


# プラズマってなんだ？

おんど  
温度によって  
もののあり方  
がかわります。



## プラズマ



# 知識のたまたま箱 ～フラスマってなんだ？～

わたしたちのまわりにある「もの」のあり方はふつう固体、液体、気体です。固体は氷、液体は水、気体は水蒸気ですね。固体を熱くすると液体になり、さらに熱くすると気体になります。

では、気体に熱や電気でさらにエネルギーを与えるとどうなるでしょう。

「もの」(物質といいます)は「げんし(原子)」でできていて、気体は原子がばらばらの状態です。原子は「げんしかく(原子核)」と「でんし(電子)」でできているのですが、さらにエネルギーをくわえると原子核と少しの電子でできたプラスイオンと電子にわかれます。このプラスイオンと電子にわかれた「もの」のあり方を“プラズマ”と呼びます。

プラズマは大きな熱やエネルギーをもっているので、ときには強く光を出します。エネルギーを失うと気体にもどって冷えてゆきます。太陽は巨大なプラズマなのでとても強い光を出しています。

## さらに学ぶために — 保護者の方へ —

1. もっと良くフラスマについて知りたい子どもたちへ  
「トコトンやさしいフラスマの本」日刊工業新聞社 など。
2. さらにフラスマをもっと知りたいお父さんお母さん方には  
「フラスマエネルギーのすべて」フラスマ・核融合学会編  
日本実業出版社 ISBN978-4-534-04191-3